小規模多機能ホームゆかい西野

運営推進会議　報告書

事 業 所 名：小規模多機能ホームゆかい西野

住　　　　所：札幌市西区西野6条9丁目1番12号

サービス種類：小規模多機能型居宅介護

日 　　　　 時： 令和7年1月29日

場 　　　　 所： 小規模多機能ホームゆかい西野

委 　　　　員：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用者代表  | 5人  | 知見を有する者 | 2人  |
| 利用者家族  | 0人  | 包括支援センター職員  | 1人  |
| 地域住民の代表 | 1人  |   |  |
| 事業所職員 （職名：管理者、介護従業員、看護師等）  | 5人  |

１.報告事項：

1. **利用者の状況**

登録者数及び男女比

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|   | 11月 | 12月 |
| 登録数 | 18名 | 16名 |
| 男性：女性  | 5：13 | 5：11 |

地域

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|   | 11月 | 12月 |
| 西野 | 7名 | 5名 |
| 平和 | 3名 | 3名 |
| 西町 | 2名 | 2名 |
| 八軒 | 1名 | 1名 |
| 二十四軒 | 2名 | 2名 |
| 手稲区西宮の沢 | 2名 | 2名 |
| 宮の森 | 1名 | 1名 |

要介護度

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 要支援１ | 要支援２ | 要介護１ | 要介護２ | 要介護３ | 要介護４ | 要介護５ | 変更申請中 |
| 11月 | 0 | 1 | 7 | 7 | 1 | 2 | 0 | 0 |
| 12月 | 0 | 1 | 5 | 7 | 2 | 1 | 0 | 0 |

**（2）環境作り**

|  |  |
| --- | --- |
| 11月2日、11日 | 利用者さんの誕生日 |
| 11月3日 | 幻術の秋 |
| 11月10日 | 銀杏拾い |
| 11月17日 | クリスマスの準備 |
| 11月27日 | リースづくり |
| 12月6日 | 季節の鍋 |
| 12月23日、24日 | クリスマス会 |
| 12月29日 | 正月のまゆだま作り |

**（3）利用者の生活、地域とのつながりをもつ取組**

・夕飯づくり

・白い恋人パーク

・お看取り

・娘さんの結婚前夜

・買物支援

**（4）事業所の取り組み**

　・コストコツアー

　・ネイルカラー

　・他のデイサービスとの交流

　・味噌づくり

　・クッキーづくり

　・生地からピザづくり

　・スタッフの誕生日会

　・雑巾縫い

　・サッポロファクトリー

**（5）質を向上するための取組**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |

**（6）事業所の地域参加**

|  |  |
| --- | --- |
| 12月7日 | 西野第一町内会役員会 |
| 12月28日  | 西野第一町内会役員会 |

**（7）ヒヤリハット・インシデント報告**

|  |  |
| --- | --- |
| 11月11日 | 屋外で転倒、外傷、流血 |
| １２月9～13日 | 感染対策 |

２.意見・アドバイス

地域の方：

Tさんは昔から知っていました。自宅では立てなくなって動けなくなっていたことは知っていた。しかし、ゆかい西野にきて楽しく過ごされていたのだと知ることができた。

小規模多機能については、何となく知っていました。しかし、決められた支援の中で、やっているかと思ったが、柔軟に対応できるのだと知ることができた。

自分も親がいるが、24時間の対応は大変。地域の近いところに介護事業所があるのが安心で良いと思った。

段差などもあるが、バリアがある状態の家庭的な雰囲気が、利用者さんのことも評価できて良いと思います。

地域包括職員

様々な活動をやっており、訪問もしているのが分かったが、忙しい様子を見ると、どうやって職員配置しているのか気になった。地域に関わる姿勢も良いです。

地域包括支援センターの活動にも顔を出してくれており、センター内でもゆかい西野のことは知られてきている。

地域に馴染んできている実感は、事業所としても感じているのではないかと思う。

有識者：

利用者さんが自然な笑顔で、その時々に周辺症状（BPSD）は出るとは思うが、一つ一つが自然な表情として表れている。

今回も自宅でのお看取りの事例を通して、すごく考え深く感じた。医療機関なら小多機、看多機などに紹介するなど、相談を進めていくが、今回の事例を通し、看取りまでの入り口がすごく自然な入り方だと思った。

縁、つながりを大事にしつつ、最期の終末までの状況を支援していると感じた。

医療機関だと、今後起こりうることを説明していくが、医療機関で話すことで選択肢を狭めてしまうこともあると思う。今後、当院でも実践報告などして欲しいと思った。

今は、医療機関でも意思決定支援をやりなさいと話が進んでいます。頭の中で組み立てて、実践は、すごく難しい。現在、試行錯誤しています。 ヒヤリハットや事故報告は仕方ないこともあるが、頑張っていって欲しい。生きること自体にリスクは伴う。

毎回、参加させてもらうたびに、高齢者に対するケアのすごいと感じる。外出回数、様々な行事、みんなで作って色々なものを食べる。それらも季節を感じることが出来る仕組みになっている。

高齢者のケアにおいて、時間の経過を感じられるのは大事なので、すごく良い取り組みです。 　2カ月の報告とは思えない回数だと毎回思う。

職員が楽しんでやれているのも良いですね。

ゆかい西野は、管理者が地域と関わって小多機と知る機会が増えている。しかし、ゆかい西野の住宅を見ても介護をやっている場所とは思えないかもしれない。大きい看板や行事などの装飾など何か楽しい家だと思ってもらえるような工夫がある道行く人が知れるきっかけになり良いのかもしれない。関心が持たれるようなものがあると良い。

３.個別評価・外部評価のお願い

次回開催

次回開催は、来年度の3月を開催目途としたいと思っております。